

観 住まい

木の声を聴く。
土の気持ちをわかる。

「こだわり」という言葉がホメ言葉として多用されているようだ。職人の「こだわり」、素材の「こだわり」。こだわり、こだわり…何をそんなにこだわるのか？ 諸行無常とは、いわれている様な詠嘆などではない。この言葉は、細胞のひとつ、ひとつ、隅々にいたるまで、瞬時の休みなく、毎瞬、毎瞬変化し続ける生命活動のダイナミックな律動そのものを表現している。

こだわったり、とらわれたりした瞬間に、生命は輝きを失ってしまふものだ。

そのことを肌でわかっている本物の職人さん達は、決して「こだわり」などという言葉を口にしたりはしない。毎瞬、毎瞬、子供の様に、「今ここ」に向き合っているだけである。そうやってはじめて、木の声が聴こえるようになり、土の気持ちがわかるようになるのだらう。



連休明けの5月8日。夢木香の松尾さんがリーダーとなって進められている古民家再生の現場をのぞかせてもらった。

佐賀市八戸の旧長崎街道沿いにある井手家。いずれも日本古来の伝統構法のプロである大工さん、左官さん、瓦職人さんたちがキビキビと立ち働いている。

動きに無駄がなく美しい。職人さん達はみなさん一様に寡黙だ。事あらたまって、自分たちの思いをペラペラとしゃべったりはしない。技は理屈じゃないからだ。

30年も腕を磨きながら、「私はまだこの道に入って長うなかけん」と言う棟梁の西野さん。「50年しよっても、土の気持ちをわかるとは難しか。いつも、次はああしよう、こうしようだね」と左官歴50年の諸上さん。

瓦という線の世界の再生の難しさを訪々と語る瓦職人の古賀さん：

はにかみながらポツリ、ポツリと出てくる言葉。余計なことは言わないが、見交す眼差しには凛とした矜持がある。

言葉の少なさは想いの深さに他ならない。世界的に評価の高い建築家安藤忠雄が、六甲で60度もある斜面に住宅を建てたときのこと。

「建築というのは技術というよりは、その建物にどれだけ想いをかけて創っていくかということのほうが大事なんだと気づかされた」と言う。

彼は年一回、事務所のスタッフと手分けして、夏か秋の天気の良い日に2、3日かけて、

自分の建てた家の大掃除をして回るそう。工法のちがいはあっても、匠たちも世界的建築家も想いの深さに、変わりは無い。

マヤの人々（マヤ文明は滅びたがマヤ人は現存している）は、「インラケッシュ!!」と挨拶を交わすという。「インラケッシュ!!」

「あなたはもう一人の私です。」自分たちが本当は誰かということ、われわれは実は、星や惑星や地球上にある全てのものを創造した宇宙意識そのものであることを、ほとんど全ての先住民族は究極の真実として理解している。

そして今、世界は間違ひなくすばらしいスピードで、宇宙律へと回帰しつつある。信じられない？

80年前に桜沢如一が渡仏して普及につとめたマクロヴィオテックが、いまや世界的に根付いてしまっている事実？ 政治家の人気取りのお題目にすぎなかった「環境保護」が、民間ベースでどんどん現実行動化している事実は？ 左脳の男性的エネルギーが構築してきた論理先行の権力構造がガラガラと音を立てて崩れ落ち、かわって柔構造の女性的エネルギーが世界を再生しつつある事実は？

もっと身近に、このこと（宇宙律への回帰）を実感できる方法がある。この秋には再生が完了する、八戸の古民家、井手家。

施主の井手さんは1階の居間を出来るだけ多くの人達に開放して、もてなしたいと考えているそう。施主さんのお言葉に甘えて、一度、匠たちのハーモニーが創りだすこの空間の空気を、体験されてみるという。

理屈はいらない。その場に身を置くだけで、生命が響きあうということはどういうことなのか、誰しも観じることが出来るだろう。宇宙の全ては、常に「今ここ」。再生への循環のリズムを毎瞬、毎瞬、刻み続けているのだ。

そのことに気づかせてくれる匠たちの技に感謝！ 合掌！

壁塗り体験会

FAX 0954-69-8334 ☎0120-835-832(携帯可)

http://www.e-house.co.jp/yumekiko/

伝統工法の楽しい壁塗り体験しませんか！
親子で、友達と参加してみませんか。楽しいですよ！

日時 5/31(日) 10:00~15:00

参加人数 40名程度

参加費 原則としてFAXでお願ひします(電話でも受け付けます)

会費 1家族 1,500円(昼食費を含みます)

持参品 手袋、よごれて良い服装

場所 佐賀県佐賀市八戸



同時開催 構造見学会 10:00~17:00



ゆめきこう
有限会社 夢木香

TEL 0954-69-8333

佐賀県鹿島市大字三河内甲 2487